

# 渋澤敬三・日本常民文化研究所



大正10年(1921)、渋澤敬三が中心となり設立したアチック・ミュージアムは、昭和17年(1942)日本常民文化研究所と改称。写真は昭和47年(1972)10月25日に渋澤邸で行われた出版記念会(渋澤敬三先生追悼記念出版「日本の民具」全4巻)65歳



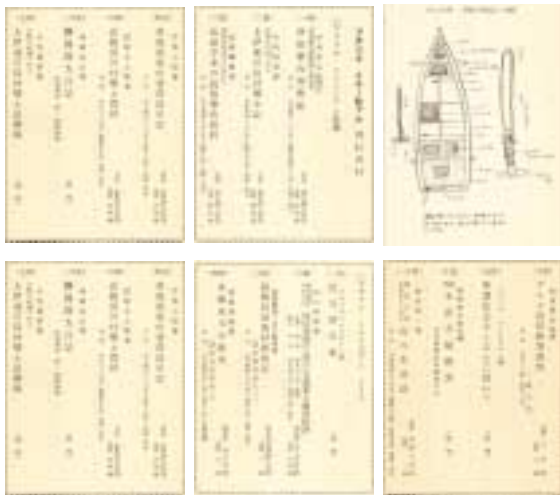
宮本とアチック同時代の研究者、桜田勝徳(51歳)、昭和30年(1955)5月渋澤邸



昭和20年代(戦後まもなく?) 渋澤敬三を囲んで



昭和10年(1935)、渋澤敬三還暦の祝い(渋澤邸にて)



『海の民俗誌』巻末のアチック・ミュージアム刊行図書目録(一部)。



昭和10年(1935)8月、上京した折にアチック・ミュージアムに泊まり、渋澤敬三より郷里の漁村民俗誌をまとめるようすすめられる。翌11年7月、入所前であったが、アチック・ミュージアムより出版。初の単行本。 28歳



渋澤邸の2階で勉強に励む。昭和30年代末と思われる。